

令和2年 第10回（定例会）

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和2年7月30日（木）午後2時30分

2 閉会

令和2年7月30日（木）午後4時30分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 池川 徹 金光 えり 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 宮下 桂 生涯学習課参事 甫 一樹

5 会議録署名委員の指名

（ 佐藤 泰夫 ）

（ 池川 徹 ）

6 教育長報告

（1）行事参加の動向 （資料1）

（2）第10回臨時議会 （資料2）

【質疑】

池川委員 : 端末の入札業者になぜ町内業者がないのか？

宮下課長 : GIGA スクール対応モデル端末の管理ソフトMDMの設定は特定の登録業者に絞られているという部分がある。入札における業者指名は財政グループと連携し登録指名業者リストから指名する形になっている。

池川委員 : 地元業者で取り扱いはないのか？

宮下課長 : 本来指名業者は原課が指名するものではないと承知している。

池川委員 : 財政で業者を指名する委員会があってそこで指名するということか？

- 甫参事 : 工事と工事に関わる設計に関しては選考委員会があるが、それ以外に関してはある金額以上であれば財政で業者を指名する。
- 池川委員 : 教育委員会に営業にきている業者を財政は知った上で指名するのか。
- 甫参事 : ある程度原課の要望や営業状況などは聞く。基本的には一定以上の金額であれば指名業者は財政グループで決定する。
- 池川委員 : 財政の誰が決めているのか？
- 甫参事 : 物品であれば管理職含めて財政グループの職員で決定する。
- 遠藤教育長 : 入札であればという話。見積もり合わせや随意契約になると担当課が何社にしたいと財政グループに合議をもらってするが、入札では指名業者の中からランク付けなどもあり妥当な業者を決定することとなる。
- 甫参事 : もちろん財政グループも町内業者を指名するよう配慮はしている。
- 池川委員 : 最近は町外やインターネット通販などから購入している事例があるのではないかな。
- 遠藤教育長 : 厚真町としては当然入札等行い、原課と財政グループがお互いに効率よく仕事を勧めるという位置づけである。指名の際は町内業者への配慮は常に行っている。
- 池川委員 : 全般的にそれが薄れてきているのではないかな。GIGAスクール端末の入札はなぜ落札率が70%と低いのか。
- 宮下課長 : 入札では起こり得ることと承知している。
- 池川委員 : 予定価格はどのように算定しているのか？
- 宮下課長 : 設計金額は営業に来ていた取扱業者2～3社から見積もりを取った上で、一番低かった金額をもとに設計金額を算定し、その設計金額をもとに理事者が予定金額を決定している。
- 池川委員 : 指名する前に営業に来ていたということか？
- 宮下課長 : そのとおりである。GIGAスクール専用モデルの端末は8月から製造開始で、まだ出回っていない。実際入札金額でも2社がギリギリの競り合いをして金額が下がったということ。
- 池川委員 : 校内ネットワークの敷設工事は、教育委員会は関係しているか？
- 宮下課長 : 令和元年度3月議会で補正予算を提出し、今年度に繰り越している。入札は終わり既に工事はスタートしている。
- 長門委員 : 419台という端末台数は、余裕をみているのか？
- 宮下課長 : 児童生徒、学校の先生以外に9台の予備機を含めている。
- 長門委員 : 今後児童数が増加した場合はどう対応するか？

- 宮下課長 : 足りなくなれば新たに購入することとなる。
- 池川委員 : 機種のバージョンは変わらないのか？
- 宮下課長 : どれぐらいの周期で更新されるかはわからない。今回整備するクロームモデルは Windows と違い機械そのものに性能が依存されないと聞いている。機能の大部分をクラウドに依存することから、メンテナンスや更新など管理上のランニングコストに関しては優れていると聞いている。

7 所管報告

学校教育グループ

- (1) 厚南地区学校運営協議会第1回会議 (資料3)
- (2) 第1回厚真町学力向上推進委員会 (資料4)
- (3) 上厚真小学校プール落成式
- (4) 第1回厚真町特別支援教育連携協議会 (資料5)
- (5) 厚真町英語教育推進委員会連携部会 (資料6)
- (6) 7月6日(月) 鵡川漁業協同組合厚真ホッキ貝漁業部会から学校給食センターへホッキ貝むき身60kg相当が寄贈され、7月7日(火)の学校給食に「ホッキカレー」として提供
- (7) 厚真町心のサポート・防災学習推進協議会 (資料7)
- (8) 第2回厚真中央地区学校運営協議会 (資料8)
- (9) 厚真町いじめ問題連絡協議会 (資料9)
- (10) 厚真町教育委員会外部評価委員会 (資料10)
- (11) 第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会 (資料11)
- (12) 第3回厚真町教育研究所設立準備委員会 (資料12)
- (13) 第3回小中一貫教育推進委員会 (資料13)
- (14) 総務文教常任委員会 所管事務調査 (資料14)
- (15) 中村奨学金、近藤奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金給付者について (資料15)
- (16) 7月校長会・教頭会 (資料16)
- (17) 厚真高校魅力化推進会議 (資料17)

【 質疑 】

- 金光委員 : 厚真高校普通科のカリキュラムについては厚真高校を存続させていく流れでやっていくことなのか。
- 宮下課長 : 地方の普通科はその名前でやっていたいかなければならない。内容がどのように変わっ

ていくかの全体像はまだ現場の先生方もわかっていない。現時点でどのように魅力化していくかは未知数。

金光委員 : 厚真町教育研究所設立委員会の事務局で、指導主幹と主幹は現在の町教委の中からその立場の人がやるのか。

宮下課長 : 新たな専門人材の配置を検討している。職員の定数を増やすのではなく、現在の定数の中に新しい役職を配置することを想定している。

金光委員 : 指導主幹と主幹の2人か？

宮下課長 : 最終的な役職名は未定であるが、管理職級であればポストとして参事という立場になると思う。

社会教育グループ

(1) 社会教育委員の会議 (資料 18)

(2) 親子でくつろぎ森ガール

(3) 放課後子ども教室 厚真土曜楽校夏休み特別教室①

「ハスカップ狩り」／土居農園／26名参加

(4) 放課後子ども教室 厚真土曜楽校夏休み特別教室②

「マイボード波乗り海遊び」／浜厚真海岸／23名参加

(5) 放課後子ども教室 厚真土曜楽校夏休み特別教室③

「森遊び プロから教わる本気の基地づくり」／厚真町環境保全林／22名参加

【質疑なし】

8 議案

9 協議

(1) 厚真町教育振興基本計画（後期） (資料 19)

【質疑】

長門委員 : 高齢者スポーツ推進が課題とあるが、厚真町の高齢者は春から秋にかけては屋外で畑仕事などよく体を動かしている。一方、秋から冬にかけて極端に運動する機会が極端に減り運動不足が顕著になる。冬期間の取組を増やすべきと思うが。

遠藤教育長 : 高齢者を意識した季節ごとの取組を考える。

甫参事 : 住民課とも連携しながら検討していきたい。

- 長門委員 : 地域学校協働本部事業で地域人材の活用と教員の負担軽減はどのような関係か？
- 宮下課長 : 地域人材を活用したから教員の負担が減るかといえば、そういった単純な話にはならない。教員の負担を減らすために地域人材を活用するわけではなく、あくまで地域人材を活用したほうが教育活動の充実が図られるという視点が大切。地域人材の活用と教員の負担軽減は切り離して考えるべきである。
- 遠藤教育長 : コーディネート役が極めて重要である。
- 長門委員 : 教員の負担軽減の具体策としてはコーディネーターの配置が必要だと承知。
- 金光委員 : 中学生海外派遣の記述に全員参加の修学旅行とあるが、これを目指しているのか？
- 遠藤教育長 : あくまで前期の目標がそうなっているということであり、修学旅行は考えていない。町長には何らかの形で海外研修の機会を継続させたいという思いはあるようだ。
- 池川委員 : 子どもたちは災害現場を見学したりしているのか？
- 宮下課長 : 今年度初めて9月4日に上小防災の日、8月26日には中央小で1日防災学校を行う。上小では日高幌内沢の現地について復旧様子や災害現場を見学する予定である。ふるさと教育の中で防災学習という1つのコンテンツがあり、災害や町の復旧・復興に関する学習機会は様々な学年の様々な学習にちりばめられている。
- 池川委員 : 観光協会のHPと教育委員会(厚真町役場)のHPをリンクさせることは可能なのか？
- 宮下課長 : 可能である。

10 その他

11 次回委員会の開催日程

- ・定例会 8月26日(水) 午後2時30分(予定)

12 閉会